



8・9月のほけんだより

令和4年8月1日 認定こども園上小泉保育園



新型コロナウイルス感染急拡大

新型コロナウイルスは流行の「第7波」に入ったと言われています。県内でも新規感染者が過去最多を更新するなど予断を許さない状況です。市内でも感染者が増加傾向にあります。先日、市から「感染拡大防止及び協力をお願い」の便りが配布されました。お便りの内容をご理解して頂き今後ともご協力をお願いします。

園では引き続き、手洗い、消毒、換気の徹底を行い、子どもたちの健康観察、職員の体調管理を行っていきたく思います。

今年は早々に梅雨明けし、毎日暑い日が続いています。先月から安全面を考慮しながら、子どもたちは、暑さの中でもどろんこ遊びや水遊びなど、夏ならではの遊びを楽しんでいます。夏は、暑さで食欲が減少し、体力を消耗しやすいため、身体に疲れがたまりやすくなります。疲れた体には十分な睡眠と栄養が大切です。モリモリ食べて、早めの就寝を心掛けましょう。



毎朝の体調チェック!

気になるときは…伝えてください



夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

「ヘルパンギーナ」に注意

のどの奥に水ぼうがができる「ヘルパンギーナ」がはやっていきます。夏かせの一種でそれほど心配はありませんが、のどの痛みが強く、食事や水分がとりにくくなるのが特徴。高熱が3日以上続いたり、水分をとれなくなったりするときは、急ぎ病院へ。

- 症状**
- 38～40℃の高熱が2～3日続く
 - のどの奥に白いぶつぶつができる
 - のどの痛み
 - 食欲不振 など

- ケア**
- かせと同じケア
 - こまめな水分補給
 - 薄味のスープや豆腐、プリンなど、のどごとしと消化のよい食事



熱が下がって1日以上たつと、いつもどおり食事ができるまでは、薬をお休みしましょう。

手足口病にご注意を

手のひら、足の裏、口の中に小さな(米粒大の)発疹や水ぼうがができる手足口病。実は、おしりや皮膚のやわらかい所にもできたり、痛みやかゆみを伴い発熱したりすることも。また、口内炎が悪化して食欲が落ちたり、まれに髄膜炎などの合併症を起こしたりすることがあるので、注意が必要です。



登園は、熱が下がり、1日以上たって普段の食事ができるようにしてから。

アデノウイルス感染症

目の症状が気になったら、こんな病気かも!? どちらもアデノウイルスによる感染症です。感染力が強いため注意が必要。早めに受診しましょう。

- **プール熱 (咽頭結膜熱)**
- **流行性角結膜炎**

- 症状**
- 発熱 (38℃以上)
 - のどの痛み
 - 目の充血
 - 目やに、涙
 - 熱は3～5日続く
 - 対症療法が中心。のどごしげよい食事にする
 - 水分補給を促す

- 症状**
- 目の充血
 - 目やに
 - まぶたのはれ
 - ひどくなると発熱や下痢を伴うことも

共通のケア

- 処方された目薬などを使う
- タオルなどの共有をしない
- 汚れた手で目をこすらない。よく手を洗う



※どちらも、登園には医師が記入した意見書が必要になります。

7月の感染情報

- アデノウイルス感染症 (咽頭結膜熱)
- 手足口病
- ヘルパンギーナ



現在、園では保護者の送迎は玄関の対応となっています。お子さんのようすで少しでも気になる場合は、登園時、必ず玄関で対応する職員に伝えてください。直接担任がお会いできない場合は、連絡帳に記入していただくか、緊急時は職員にお伝えください。

出欠の連絡は朝9時までには必ず園に連絡ください

感染対策の観点から、お子さんやご家族に発熱等の症状がある場合や、発熱時は解熱後24時間は登園を控えていただいています。保育園で発熱し、翌日お休みされる場合でも、その後の体調について園に連絡くださるようよろしくお願いいたします。(例) 発熱が続いている。熱が下がったが様子みます。

感染症情報

先月から、特に未満児クラスで夏風邪とみられる発熱、咳、鼻水の症状のお子さんが多くみられました。園で感染症の報告があった際には、玄関前の提示版に掲示しますので、お帰りの際は確認をお願いします。また、緊急のお知らせについては、携帯連絡しますので、すみやかに確認をお願いします。

